

## 「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」を設立しました

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催にあわせて、北海道白老町のポロト湖畔に、アイヌ文化の継承と創造発展につなげるための新しい拠点である国立の「民族共生象徴空間」が開設されます。国では、象徴空間の来場者100万人の目標を掲げており、象徴空間がもたらす観光を中心とする本道経済の活性化等、様々な効果を北海道全体に広げるため、去る11月9日、ホテルポールスター札幌にて、道、関係市町村、北海道アイヌ協会、道内経済界、サポーター企業等からなる官民の応援組織「民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク」の設立総会と、これに引き続き、キックオフ・ミーティング「民族共生象徴空間の夕べ」が開催されました。

設立総会では、道の山谷副知事による設立趣旨の説明に続き、事務局から規約の説明が行われ、ネットワークの設立について、ご出席いただいた44団体の構成員の方々に、満場一致でご承認いただきました。その後、役員を選任が行われ、代表には、北海道経済同友会の横内代表幹事に、顧問には、北海道の高橋知事と作詞作曲家の新井満氏が就任されました。

引き続き行われたキックオフ・ミーティングは、横内代表からのオール北海道での協力に向けた力強いお言葉で幕を明け、国の内閣官房アイヌ総合政策室の松永室長より、「民族共生象徴空間」についてご講演いただいたほか、北海道アイヌ協会の加藤理事長の乾杯のご発声に続き、顧問の新井満氏とユカラ劇脚本・演出家でアイヌ民族の秋辺日出男氏によるイランカラテキャンペーンイメージソング「イランカラテ〜君に逢えてよかった」の歌唱や、アイヌ民族博物館によるアイヌ古式舞踊の公演も行われました。

また、立食パーティー形式で行われた会場には、様々な料理に加えて、アイヌのお酒「カムイトノト」や、「いろはにほへと」様ご提供によるアイヌ料理「オハウ」や「チポロイモ」もテーブルに並びました。

道では、このネットワークのもと、民族共生象徴空間の更なる機運の醸成を図りながら、誘客促進に向けたPR活動を強化するなど、オール北海道で取組を進めてまいります。



【設立総会の様子】



【横内代表ご挨拶】



【歌唱披露】



【アイヌ古式舞踊披露】



【アイヌ料理】



【キックオフ・ミーティングの様子】